

カン違い



「ゆるトピ」は掲載1年第20編を迎えることができました。
これも皆様のおかげです、ありがとうございます。

Congratulations!



さて、1周年のテーマが「カン違い」ってどうかな?とも、むしろ合ってるかな?とも思いますが、、、
誰でも時々するカン違い、特に子供の頃のカン違いはその後長い間思い込んでしまっていたものが多いです。

「どうせあちこちで拾い集めたネタでしょ?」と思って頂いた方が気が楽になるほど多くて、いくつも削除したぐらいです。お恥ずかしいのですがいくつかをご紹介します。

カン違い

(あくまで個人のカン違いです)

❑ テレビの中の方は、こっちが少し見えているんじゃないかと疑っていた

「どんぐりころころ どんぐりこ〜♪」 🍄

「いいじいさんに連れられて行っちゃった〜♪」 🍷

「ゆうやけ こやけの赤とんぼ♪」のタイトル

「きょうと〜おおはら さんぜんにん♪」

「シュワッキ〜マッセ〜リ〜♪」と言う謎の呪文

「げっきょく」と言う巨大組織

レンゲは自然に生えてくる

暴れん坊の集まり「台風一家」

大人になったら自然と大人の文字が書ける

大人になったらもう勉強はしなくていい



「きくらげ」はクラゲ

いつか食べれると楽しみにしていた「ニンニク」という名のお肉 🍖

ゴミ砂漠 寝ブタ祭り 🐷 「小野妹子」は女性

カツオ、ワカメ、タラちゃんは兄弟

ムーミンはカバ 🐼 キティちゃんはネコ 🐱 🐾

寒い場所で鼻呼吸していると北欧の人のように鼻は高くなると信じ真冬に屋外で密かに頑張っていた



月極駐車場




歌モノも多いですが、妹子、ムーミン、キティちゃんの実態を知った時は、
自分の中で何かが崩れ落ちてゆくような大きい衝撃だったのを覚えています。

「知っている言葉の数」を「語彙量」と言うらしいですが、その目安は

小学生レベル: 5千~2万語 / 中学生レベル: 2万~4万語

高校生レベル: 4万~4万5千語 / 大学生レベル: 4万5千~5万語

なので小学生ぐらいにカン違いするのは仕方ないことなのですが、語彙を増やすとされている読書習慣がなかったのか、いくつも削除したぐらい私のカン違いは多かったです。 

「消防署では『すべり棒』で降りるんでしょう？」



消防士になった頃、周りから必ず訊かれていました。

昭和末期には、すべり棒の痕跡が残っていた古い署所も存在したようですが、実際に使用している消防は既に国内では無かったようです。

なぜか？


理由 1:「あぶないから」

理由 2:「階段のほうが早いから」

そう教えられました。

へっ!?

階段は昔からあったでしょ？

ツッコミどころ満載のごっついカン違い 

気づくのが遅過ぎ、ユルイではなくイタイです。

早い、カンタン、確実！ 何にも勝る考え方だと思います。

皆さんの防火、防犯、防災、通報、消火、避難…、早い、カンタン、確実になっていますか？

もう一度、そして度々見直しと点検をお願いします！

これらのカン違いは、いのちにかかわります。

< 参考 >

陽光通信 <https://www.yokogakuin.co.jp/> みんなのマネ活 <https://www.rakuten-card.co.jp/> HUMANPICTOGRAM2.20 <https://pictogram2.com/>

PIXABAY <https://pixabay.com/> びよたそ <https://hiyokoyarou.com/>